

令和6年度 一般社団法人岐阜県農畜産公社事業報告書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

I 法人の概況

1 移行年月日 平成25年4月1日

※平成11年4月1日付け(社)岐阜県畜産開発公社(昭和48年4月28日設立)と(財)岐阜県農業公社(昭和47年6月1日設立)が統合

2 定款に定める目的

公社は、岐阜県における農業の生産性向上並びに経営の安定に対する支援及び農業の啓発普及を推進し、もって農業の健全な発展に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 畜産生産基盤の整備
- (2) 農地の集積・集約化
- (3) 新規就農者の育成・確保及び担い手の経営支援
- (4) 農福連携の推進
- (5) 農産物の安全ブランド化の推進
- (6) 優良な乳用牛及び肉用牛の育成
- (7) 優良な肉用牛資源の供給
- (8) 畜産公共施設の維持管理業務の受託
- (9) その他公社の目的達成に必要な事業

4 所管官庁に関する事項

岐阜県農政部農政課

5 会員の状況及び出資金・基金等

(1) 出資金

会 員 (構 成 員)	出 資 金 (千 円)
岐阜県	230,000
岐阜県酪農農業協同組合連合会	18,000
全国農業協同組合連合会	14,000
岐阜県信用農業協同組合連合会	13,000
岐阜県農業協同組合中央会	500
計	275,500

6 主たる事務所・事業所等の所在地

令和7年3月31日現在

主たる事務所 : 岐阜市藪田南5-14-12

(ぎふ清流GAP推進センター: 岐阜市下奈良2丁目2番1号)

事務所等	東濃牧場	: 恵那市長島町鍋山4-66
	飛騨牧場	: 高山市清見町櫛谷116-4
	(関 駐在	: 関市平和通6-11-1)
	(美濃駐在	: 美濃市生櫛1612-2)
	(郡上駐在	: 郡上市八幡町初音1727-2)
	(恵那駐在	: 恵那市長島町正家字後田1067-71)
	(高山駐在	: 高山市上岡本町7-468)

7 役員等に関する事項

令和7年3月31日現在

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職	備 考
理事長	雨宮 功治	常勤		R6. 6. 28就任
理事	足立 葉子	非常勤	岐阜県農政部長	
理事	清水 清人	非常勤	岐阜県酪連代表理事会長	
理事	山内 清久	非常勤	全農岐阜県本部運営委員会会長	
理事	櫻井 宏	非常勤	岐阜県信連経営管理委員会会長 兼岐阜県農協中央会代表理事会長	
理事	村下 貴夫	非常勤	一般社団法人岐阜県畜産協会会長	
理事	岩井 豊太郎	非常勤	一般社団法人岐阜県農業会議会長	
理事	春見 秀則	非常勤	岐阜県指導農業士連絡協議会会長	
理事	國枝 慎太郎	非常勤	岐阜県議会議員	
理事	小川 祐輝	非常勤	岐阜県議会議員	
監事	西村 寿文	非常勤	全農岐阜県本部長	R6. 6. 28就任
監事	野津 博和	非常勤	岐阜県信連代表理事理事長	

(1) 定款第19条に定める定数

理事：8名以上15名以内

監事：2名以内

(2) 現在数

理事：10名

監事：2名

(3) 任期

理事：令和5年6月30日から令和7年度定時総会まで

監事：令和3年6月30日から令和7年度定時総会まで

8 職員に関する事項

令和7年3月31日現在

区 分	事務局	東濃牧場	飛騨牧場	その他駐在	計	備 考
正職員	3 (1)	2	4		9 (1)	
県派遣職員	4 (1)	3	1	1	9 (1)	
団体派遣・出向職員	2				2	
特例職員（県OB）	1 1 (2)				1 1 (2)	
任期付職員	2 (1)	3 (1)	1 (1)		6 (3)	
再任用職員（公社OB）	1				1	
専門員	2 0 (11)	2	1	4	2 7 (11)	
補助職員		1 (1)	1 (1)		2 (2)	
補助員				2	2	
その他	1 (1)				1 (1)	
合 計	4 4 (17)	1 1 (2)	8 (2)	7	7 0 (21)	

※（ ）は内女性、その他：県職員駐在1名

この他に牧場で臨時職員（補助員）7名を雇用している

Ⅱ 事業の状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1 事業の実施状況

〈 畜産部門 〉

（1） 優良な乳用牛及び肉用牛の育成事業及び肉用資源の供給拡大事業

最近の畜産を取り巻く情勢は、長引く円安基調により穀物・資源価格の上昇による購入飼料を始めとする生産資材が高騰、また物価高騰による畜産物の消費冷え込みにより、経営が大変厳しくなっている。

公社牧場経営もこうした影響を受け、昨年度に引き続き大変厳しい経営となっている。こうしたなか、公社は、県営牧場である東濃牧場及び飛騨牧場の指定管理者としての責務を果たしながら、県内農家のニーズに合った優良な後継牛を育成し、安定的に供給することで本県酪農と肉用牛振興に寄与している。令和6年度は以下の事業を実施した。

① 家畜育成事業

ア 東濃牧場

（ア） 乳用雌牛の育成事業

- ・ 県内酪農家から乳用雌子牛を新たに367頭（年間計画比97%、令和5年度比94%）を買い取り、哺育育成を行った。
- ・ 育成を終了した優良初妊牛442頭（同107%、同104%）を県内酪農家に譲渡した。
- ・ 昨年度に行われた「第8回岐阜県ホルスタイン共進会」において、未經産の部でグランドチャンピオン賞を受賞した育成牛が、4月に静岡県御殿場市で行われた中部地区B&Wショーへの出場を果たした。
- ・ 肉用子牛の増頭を図るため実施している受精卵移植については、飛騨牧場で採取し供給を受けた受精卵等32卵を乳用育成牛に移植した。

（イ） 肉用子牛の哺育育成事業

- ・ 牧場で生産した和牛子牛をおおむね9カ月齢まで哺育育成し、21頭（同95%、同100%）を肉用牛農家に家畜市場を通じ販売している。単価は当初予算より99千円安い、501千円／頭となった。

また、北海道全共用として、牧場で飼育している和牛繁殖雌牛から、受精卵採取を行い、33卵採取した。

（ウ） 肉用牛の受託育成放牧事業

- ・ 県内の肉用牛農家から和牛繁殖雌牛を受託し、放牧育成を行った。
 - ・ 令和6年度実績
 - ・ 予定受託期間 : 令和6年5月8日～11月14日
 - ・ 受託実頭数 : 44頭
 - ・ 受託延頭数 : 4,299頭（同215%、同158%）

イ 飛騨牧場

（ア） 肉用牛の繁殖育成事業

- ・ 牧場で飼育している和牛繁殖雌牛から258頭（同103%、同100%）の和牛子牛を生産した。なお、育種価等により選抜した能力の高い産子24頭を繁殖育成牛として内部保留した。また、新たな繁殖雌牛群の整備として、8頭（県内4頭、県外4頭）を導入した。

（イ） 肉用子牛の育成事業

- ・ 牧場で生産した和牛子牛をおおむね9カ月齢まで育成し、現在までに家畜市場を通じ肉用牛農家に196頭（同103%、同99%）を譲渡した。なお、単価は、当初予算から117千円安い、533千円／頭となった。

(ウ) 肉用牛の受託育成放牧事業

- ・ 県内の肉用牛農家から和牛繁殖雌牛を受託し、放牧育成を行った。
 - ・ 令和6年度実績
 - ・ 受託期間 : 令和6年5月20日～10月17日
 - ・ 受託実頭数 : 88頭
 - ・ 受託延頭数 : 7,737頭 (同155%、同98%)

(エ) 育成牛の能力調査事業

- ・ 遺伝的能力のはっきりしていない初産牛子牛について、その能力把握のために新たに21頭を保留し、肥育試験を行っている。また、肉質調査用として育成を終了した22頭 (同100%、同122%) を販売した。

(オ) 和牛初妊牛譲渡事業

- ・ 繁殖経営の規模拡大と新規参入を推進するため、県内繁殖農家に和牛初妊牛10頭を譲渡することとしていたが、需要がなく実績はなかった。

(カ) 受精卵供給事業

- ・ 和牛繁殖雌牛の改良及び和牛の増頭に寄与するために、169卵 (同42%、同76%) の優良受精卵を採取し、県内畜産農家133卵 (同44%、同78%) を販売した。併せて10卵を東濃牧場の乳用育成牛用に供給した。
また県の種雄牛造成に協力するため、牧場の基礎雌牛2頭から受精卵採取を行い、採取した受精卵は、県畜産研究所飛騨牛研究部に供給した。

② 畜産振興事業

優良な繁殖雌牛群整備のため、(一社)岐阜県畜産協会の助成事業を活用して、和牛子牛7頭 (同70%) を内部保留した。

事業名	事業費(千円)	実施牧場	事業内容	備考(助成額)
優良繁殖雌牛保留支援事業	4,282	飛騨牧場	和牛繁殖雌子牛保留7頭	(一社)岐阜県畜産協会:973千円 (139千円/頭)
計	4,282			

(2) 畜産公共施設の維持管理業務受託事業

指定管理者として岐阜県東濃牧場及び岐阜県飛騨牧場の土地、建物及び施設等の維持管理業務を受託し、管理運営を行った。

事業名	受託先(指定管理料)	実施牧場	事業内容
牧場管理受託事業	岐阜県 62,192千円	東濃牧場 飛騨牧場	土地、建物、施設の維持管理等 使用承認事務等

育成牛の放牧、越冬飼料を確保するため、両牧場の牧草地に肥料・堆肥を散布し、牧草の刈り取り調製及び貯蔵等の作業を実施した。

・採草実績

区 分		東 濃 牧 場	飛 騨 牧 場	合 計
面 積	採 草 地	53 ha	44 ha	97 ha
	放 牧 地	122 ha	237 ha	359 ha
	計	175 ha	281 ha	456 ha
ヘイレージ採草量		433 t	320 t	753 t
R5年度	年間実績	597 t	413 t	1,010 t

※主な行事等

- ・令和6年7月26日に「第1回岐阜県家畜育成牧場管理運営業務評価委員会会議」を東濃牧場で開催
- ・令和6年7月20日から8月31日にかけて牧場利用者のアンケートを実施
- ・令和7年2月27日に「第2回岐阜県家畜育成牧場管理運営業務評価委員会会議」を岐阜市（県シンクタンク庁舎）で開催

(3) 畜産生産基盤整備事業

既存の畜産地帯の再整備を推進し、今後とも畜産主産地として安定的な発展が見込まれる地域において、飼料基盤の拡充、畜舎や家畜排せつ物処理施設等の整備を進めている。

令和6年度は、郡上第二地区で5年度繰越事業を実施するとともに、地区最終年となる畜産担い手育成総合整備事業を実施した。また新規地区（東濃東部第二地区：仮称）のうち、東濃牧場の再編整備について計画策定を実施した。なお工事、計画策定等は全て完了した。

ア 郡上第二地区

① 畜産担い手育成総合整備事業（郡上市）

※ 実施期間：令和2年度～6年度

- ・令和5年度繰越分

事業種目	事業量	事業費（千円）	備 考
草地造成改良	1.21ha	7,550	
農機具導入	1台	7,523	堆肥運搬車
合 計		15,073	

- ・令和6年度分

事業種目	事業量	事業費（千円）	備 考
草地整備改良	3.57ha	5,136	
構内舗装整備	1式	35,048	
肥育牛舎整備	1棟	111,685	肥育牛舎建築工事
測量・試験費	1式	2,442	肥育牛舎建築施工監理
小 計		154,311	
公社事務費(※)	1式	12,670	
建設利息	1式	591	
合 計		167,572	

※（公社事務費）＝（工事雑費）＋（一般管理費）＋（附帯事務費）

【ぎふアグリチャレンジ支援センター】

〈 農地部門 〉

(4) 農地中間管理事業

担い手への農地集積・集約化を促進するための「農地中間管理事業の推進に関する法律」が制定され、公社が同法に基づく農地中間管理機構として、平成26年3月に県から指定を受けた。

本県における担い手への農地集積割合が約3割にとどまる中で、担い手を中心とした農業構造の転換は急務の課題であり、県が定めた基本方針に基づき、農地の借受け・貸付けを実施し、担い手への農地集積・集約化の加速を図っている。

令和6年度は、事業開始から11年目となり、機構（公社）が、地域農業の将来のあり方を明確化する地域計画の策定主体である市町村、加えて農業委員会やJA等との連携を密にして、地域計画の実現に向けて一体的に事業の推進を図った。また、引き続き現地駐在員5名体制で県内をカバーし、農地所有者等への働きかけや貸付先の掘り起こし等の活動に加えて、地域計画の策定に向けた協議の場に積極的に参加し、計画策定に協力した。さらに、関係機関の協力のもと、重点推進地域の拡大・強化を図った。

また、令和6年度から、機構事業による10年契約の更新業務が本格化しており、関係者への更新案内等を実施した。さらに令和7年度からは、市町村集積計画（相対契約）が機構事業に一本化されるため、速やかな制度移行に向けて関係者への説明会等を行い、新制度の周知を図った。

令和6年度の貸付実績は、1,479.0haであった。また、更新手続きとして、576.6haを実施した。

① 農地の借受・貸付状況

(単位：ha、%)

区 分	R5末累積	R6年度			累 計
		計 画	実 績	計画比	実 績
取 得 (借受)	11,702.0	2,550.0	1,482.0	58.1	13,184.0
うち貸付	11,692.0	2,500.0	1,479.0	59.2	13,171.0
うち新規集積分	2,736.0	-	645.9	-	3,381.9
うち中間保有 ※	6.5	50.0	6.4	12.8	12.9

※うち中間保有面積については、過年度に貸付契約した農地が、途中解約により中間保有となった農地を含むため、取得面積から貸付面積を差し引いた面積と必ずしも一致しない。

(参考)

県目標：担い手が利用する農地の面積及び集積率
H26：16,992ha、29.7% → R12：40,950ha、78%

※主な行事等

- ・令和6年5月21日に「農地中間管理事業評価委員会」を開催。
- ・令和6年6月11日に「農地中間管理事業説明会（第1回・岐阜会場）」を開催。
- ・令和6年6月21日に「農地中間管理事業説明会（第2回・高山会場）」を開催。
- ・令和6年9月26日に「農地中間管理機構 東海近畿ブロック会議」が本県で開催。
- ・令和6年10月17日に「令和6年度機構事業（機構集積協力金交付事業等）担当者説明会」を開催。
- ・令和6年11月18日、19日、22日に開催された「地域別農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」において、農地中間管理事業の説明を行った。
- ・令和7年1月17日に「農林水産省による岐阜県機構の視察」において説明を行った。

- ・令和6年4月～令和7年2月に地域計画策定関連会議参加（延109回）
- ・令和7年3月19日に開催された「公社理事会」において、農地中間管理事業の利用に係る手数料徴収を令和8年度より実施することを承認された。

② 遊休農地解消緊急対策事業

機構（公社）が借り受けた遊休農地について、機構関連事業を利用した簡易な農地整備を実施し、担い手に貸し付ける事業を行っている。令和6年度は、5.2haを借り受け、草刈り耕起等の整備を実施した。

・遊休農地解消緊急対策事業実績

実施地区	地目	実施面積 (ha)	事業費 (千円)	事業内容	備考
養老町室原	畑	0.5	229	草刈り、耕起	完了
御嵩町井尻	田	0.1	34	草刈り、耕起	完了
郡上市高鷲町	畑	2.0	872	草刈り、耕起、除根	完了
郡上市高鷲町	畑	0.6	257	草刈り、耕起、除根	完了
八百津町和知	田	0.3	128	草刈り、耕起	完了
美濃市藤生	田	1.6	668	草刈り、耕起	完了
養老町押越	田	0.1	21	草刈り、耕起	完了
合計		5.2	2,209		

(5) 農地売買等事業

本事業は、「農業経営基盤強化促進法」で定める農地中間管理機構の特例事業（旧農地保有合理化事業の継続事業）であり、促進計画等により、経営規模縮小農家等から農地を買入れ、農業経営の規模拡大に意欲のある農家等に対し売り渡すものである。

① 売買事業

令和6年度は、7年度から売買リスクを生じない仕組みで事業実施できるよう、調査・研究及び制度設計を行った。

※主な行事等

- ・令和6年10月21日 京都府農地中間管理機構の農地売買等事業について調査
- ・令和6年11月18日 岐阜市の農地売買等事業について調査
- ・令和6年12月13日 滋賀県農地中間管理機構の農地売買等事業について調査
- ・令和7年3月19日に開催された「公社理事会」において、農地売買等事業を令和7年度より実施することを承認された。

② 長期保有農地有効活用事業

(単位：ha、千円、%)

区 分	当初計画		実 績		対計画比	
	面積 (A)	小作料等 (B)	面積 (D)	小作料等 (E)	D/A	E/B
担い手農家への貸付	1.3	25	1.3	25	100.0	100.0
計	1.3	25	1.3	25	100.0	100.0

〈 担い手部門 〉

(6) 新規就農者の育成・確保及び担い手の経営支援事業

最近の農業生産現場では、農業従事者の高齢化や離農が進み、担い手不足が深刻化しており、新規就農者の育成・確保・定着が急務となっている。こうした中、岐阜県は、平成 29 年度から岐阜県方式による支援体制を強化するため、就農相談から研修、営農定着までを一貫して支援する「ぎふアグリチャレンジ支援センター」を公社に設置し、支援業務にあたっている。

公社は、関係機関の協力を得て同センターの円滑な運営を図り、ワンストップ農業支援窓口として、新規就農者の多面的な支援に加え、営農定着のための担い手経営支援を行っている。また、平成 31 年 4 月から施行された「外国人労働者受け入れ法（改正出入国管理法）」に対応するため、「農業分野の外国人雇用相談窓口」を開設し、相談を受け付けている。

なお、就農支援資金の貸付等業務については、平成 26 年度の新規貸付分から（株）日本政策金融公庫が行うことになり、公社は既貸付分の償還業務を引き続き行っている。

① 就農・就業相談窓口事業

令和 6 年度は、事務局に就農・就業相談員 4 名と県内 3 ヲ所（美濃市、恵那市、高山市）に地域就農アドバイザー 3 名を配置し、就農相談・支援を行った。また、県や県農業会議からの派遣職員が公社に常駐し、専任の職員とともに就農相談から法人化や企業参入までを一元的に対応し、土地利用や資金面などあらゆる相談、情報提供、研修を行った。

令和 6 年度は、539 件（令和 5 年度：548 件）の就農相談に対応した。

・ 就農相談件数：539 件（対 R5 年度比 98%）（単位：件）

相談形態別					性別			県内外別			備考
面談	文書	電話	メール	計	男性	女性	計	県内	県外	計	
437	6	56	40	539	406	133	539	256	283	539	

・ 外国人雇用相談件数（対 R5 年度比 192%）

相談元別内訳（件）						備考
相談元	外国人	農業経営体	指導機関等	その他	合計	
R6実績	15	42	5	7	69	

・ 農業研修等実績

研修内容区分	参加人数（人）	備考
やる気発掘農業ゼミ（オンライン）	155	9月18日～11月19日（全3回）開催
ぎふ就農体感ツアー	5	飛騨市（1人）、下呂市（4人）
ぎふ中期農業体験研修	1	高山市
合計	161	

（注）やる気発掘農業ゼミ（オンライン）の参加人数は申込者数。

・ 経営等相談件数（単位：件、%）

相談内容別内訳						備考
相談内容	法人化	企業参入	農福連携	農地	合計	
R6実績	116	63	54	77	310	
（対R5年度比）	88	129	68	73	85	

※主な行事等

- ・令和6年5月17日に「新規就農者育成支援研修会」を開催した。（出席者66人）
- ・令和6年5月25日に「ぎふアグリチャレンジフェア」（出展20ブース）を開催し、延べ55件の相談に対応した。（就農希望者、関係機関等61人参加）
- ・令和6年6月1日に「マイナビ農林水産FEST」（大阪開催）に参加し、8件の相談に対応した。
- ・令和6年7月11日に「新規就農施策の推進に向けた先進地域とのWEB意見交換会（農林水産省主催）」に出席。
- ・令和6年9月28日に「ぎふアグリチャレンジフェア in 大阪」（出展8ブース）を開催し、延べ41件の相談に対応した。
- ・令和6年10月24日に「ぎふ農業経営学院」（委託事業者：アグリコネクト㈱）を開講し、全9回の講座を行い、令和7年3月3日に受講者自らが作成した経営計画の発表会及び修了式（発表者・修了者数：11名）を開催した。（受講者：前半（2回）19名、後半（7回）：12名）
- ・令和6年10月26日、27日に「岐阜県農業フェスティバル」に参加し、12件の相談に対応した。
- ・令和6年10月27日に「新・農業人フェア」（大阪開催）に参加し、43件の相談に対応した。
- ・令和6年11月23日に「マイナビ農林水産FEST」（名古屋開催）に参加し、33件の相談に対応した。
- ・令和6年12月8日に「新・農業人フェア」（東京開催）に参加し、39件の相談に対応した。
- ・令和7年1月25日に「ぎふアグリチャレンジフェア」（出展22ブース）を開催し、延べ56件の相談に対応した。（就農希望者、関係機関等53人参加）
- ・県の移住定住部局と連携し「ぎふ移住フェア」等に参加し、相談に対応した。
（令和6年7月4日（名古屋）5件、7月16日（東京）3件、7月20日（大阪）8件、9月17日（名古屋）3件、10月5日（名古屋）5件、令和7年1月25日（東京）6件、2月1日（大阪）2件）
- ・県内の複数産地等と連携し労働力を融通する取組みを検討する「産地間連携推進検討会」（県主催）に出席した。（令和6年9月4日、令和7年2月26日）
- ・農業分野の特定技能外国人の適正かつ円滑な受入を協議するための「東海地域農業特定技能協議会運営委員会」（東海農政局主催）にオブザーバーとして出席した。（令和6年12月5日）

② 農業経営者法人化等総合サポート事業受託事業

県からの委託を受けて、就農希望者や経営面での課題を有する農業者に対し、就農、法人化・経営継承等に関する支援を行う就農サポート・経営サポート活動を実施している。

令和6年度は経営サポート活動として、重点支援対象者に対し延べ230回（うち専門家派遣 延べ82回）支援を行った。

また、農業経営の改善、法人化、円滑な経営継承などの課題に応じる定例相談会やオンライン相談会を開催した。

・経営サポート活動実績

	経営診 件 数	サポート活動実績		備 考
		延回数（回）	うち、延派遣回数（回）	
R6実績	35	230	82	中小企業診断士等を派遣
対R5年度比（%）	109	116	89	

・農業経営相談会実績

	相談会実績		備 考
	回数（回）	延相談件数（件）	
定例相談会	11	16	中小企業診断士による相談
オンライン相談会	6	6	

※主な行事等

- ・4月に、県農林事務所（農業普及課）やJA県中央会を巡回し、事業に関する意見交換会を実施。
- ・令和6年5月22日に「農業経営・就農支援センター担当者会議（東海農政局主催）」に出席。
- ・定例相談会を毎月開催し、中小企業診断士による重点支援対象者への経営支援を実施（計11回（令和6年5月14日、6月11日、7月9日、8月13日、9月10日、10月8日、11月12日、12月10日、令和7年1月14日、2月10日、3月11日））。
- ・経営戦略会議を毎月開催し、重点支援対象者の経営戦略を立案（計12回（令和6年4月26日、5月28日、6月25日、7月23日、8月27日、9月24日、10月22日、11月26日、12月25日、令和7年1月28日、2月25日、3月18日））。
- ・地域計画策定に向けたコーディネーター人材養成研修を、県及び（一社）岐阜県農業会議と共同で開催（令和6年6月19日、7月18日、8月8日）。
- ・今年度から新たに、お昼の休憩時間に専門家が農業経営に関する様々な話題を解説する「ランチタイム経営ゼミ」をWeb形式で開催（計9回（8月9日、22日、9月5日、24日、10月7日、21日、11月18日、12月3日、令和7年1月23日））。
- ・令和7年1月24日に「都道府県農業経営・就農支援センター担当者会議（農林水産省主催）（WEB会議）」に出席した。

③ 無料職業紹介事業

平成17年9月1日に厚生労働大臣の事業許可を受けて無料職業紹介所を設置し、青年等の農業法人等への就業を進め、経営規模の拡大を図ると共に、岐阜県農業を担う新規就農者の育成確保に努めた。

・活動状況実績

（単位：件）

項目 業種	求 人		求 職	就 職		備 考
	常 用	臨 時		常 用	臨 時	
一般作業等	8	0	69	0	0	

④ 新規就農者育成総合対策事業

平成24年度からの継続事業として、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間（2年以内）の所得を確保する資金の交付を行っている。

令和6年度は、5年度から研修を継続中の1人と6年度に新規で計画承認し研修を開始した14人に就農準備資金を交付した。

併せて、資金受給者の研修状況と研修終了後の就農・就業確認を随時実施した。

・ 新規就農者育成総合対策「就農準備資金」交付実績

区 分	当初計画	実 績		備 考
		計画承認	補助金交付	
交付対象者（人）	31	継続 1	継続 1	(計画承認) 継続：1人 新規：15人 (新規のうち、1人承認後に研修中止)
		新規 15	新規 14	
交付総額（千円）	46,500	—	継続 1,125	(交付者数) 継続：1人 新規：14人 (交付金額別) 1,125千円×1人 1,250千円×2人 1,500千円×12人
			新規 20,500	
		合 計	21,625	

・ 就農状況・研修状況の確認実績

区 分	上半期（4～9月）		下半期（10～3月）	
	回数	対象者数	回数	対象者数
就農状況確認	22回	22人	7回	7人
研修状況確認	11回	11人	35回	24人

※主な行事等

- ・ 令和6年5月28日及び6月3日、4日に「就農準備資金申請手続き説明会」を高山市及び美濃市、農業大学校で開催した。（出席者 高山市21名、美濃市30名、農業大学校41名）
- ・ 令和6年6月10日～21日に就農準備資金研修計画を公募した。（応募者15名）
- ・ 令和6年7月30日及び31日に「就農準備資金研修計画審査委員会」を開催した。（令和6年度審査対象者（承認）14名）
- ・ 令和6年9月6日及び11日に「新規就農者育成総合対策（就農準備資金）等交付対象者研修会」を開催した。（参加者 交付対象者13名、研修機関等担当者8名）
- ・ 令和7年1月21日に「就農準備資金研修計画審査委員会」を開催した。（令和6年度審査対象者（追加承認）1名）
- ・ これまでに就農準備資金を交付した新規就農者に対し、就農状況の確認を実施。（8月20日～8月30日、2月12日～2月26日）
- ・ 就農準備資金を交付している研修生に対し、研修状況の確認を実施。（5月13日～5月27日、7月3日、10月22日、11月11日～11月28日、1月23日、1月28日、2月12日、2月14日、3月5日～3月18日）
- ・ 計画承認した16人（継続1人、新規15人）のうち15人（継続1人、新規14人）について、就農準備資金を交付した（上半期：9月30日、下半期3月20日）、残り1人（新規）については、研修中止（11月27日）により交付しなかった。
- ・ 令和7年2月4日に「農業の担い手育成セミナー」を開催した。（出席者：新規就農者・研修生・先輩農業者36名、関係者55名（計91名））
- ・ 県が実施する「冬春トマトの担い手育成事業」令和7年度研修者2次選考会に、選考委員として出席した。（令和6年10月15日、令和7年2月21日）
- ・ 県主催の「農業の担い手育成プロジェクト推進委員会」に構成員として出席した。（令和6年12月17日、令和7年3月19日）

【ぎふ農福連携推進センター】

〈 農福連携部門 〉

(7) 農福連携支援事業

政府は、平成 28 年 6 月に閣議決定した「一億総活躍プラン」の中で農福連携の推進を掲げ、支援事業を展開している。農福連携が進めば、障がい者の就労機会の拡大につながり、農業者にとっても労働力の確保ができ、双方にメリットがある。そこで、平成 30 年 4 月に農福連携の推進・強化を図るため、公社内に「農福連携推進室」を設置した。令和 6 年 4 月には「ぎふ農福連携推進センター」に改組しセンター長を配置することで機能を強化するとともに、さらに農福連携の普及拡大を図るため、以下の事業を実施している。

① 農福連携推進活動事業

農業分野での障がい者の就業を促進するため、農福連携に取り組む農業者や障害福祉事業所への支援を行っている。具体的には、農業者が障がい者施設に農作業を委託する場合や雇用する場合の費用助成、障がい者を受入れる農業者や農業に参入する福祉事業所の施設等整備への補助を行っている。令和 6 年度は、障がい者受入体験助成等の 18 件に助成金を交付し支援を行った。

アンケート等で事業要望を聞き取るなど、事業実施者を募集した。

また、農福連携の取組を現場で支援する農業ジョブコーチの育成・派遣等を行った。

・補助金交付実績

区 分	補助対象者（件）	補助額（千円）	備 考
障がい者受入体験	6	331	作業受委託5件 雇用1件
雇用促進及び経営改善につながる環境整備	12	7,089	・パネル洗浄機、冷風扇、 甘藷根毛処理機 運搬車、管理機他
農業参入への施設整備	0	0	
ノウクJAS認証取得	0	0	
合 計	18	7,420	

② 農福連携推進強化事業（拡充）

農福連携には、一般消費者や企業の理解や認知度の向上が必要であることから以下の事業を実施した。

・事業活動状況

事 業 名	事業内容	備 考
ノウク商品販売促進事業	・ノウク新商品の開発	・応募2件、プロポーサル審査で2件決定し、農福連携全国フォーラム会場にて発表 ・県内産枝豆を使用した「ずんだ大福」 ・県内産甘藷を利用した「美濃蜜芋プリン」 農福連携全国フォーラム及び県農業フェスティバルで試食会を開催
	・ノウクインスタグラムによるPR	・全国マルシェ出展者のPRを実施

		・ノウフクの日（11月29日）に向け、各種イベント情報を発信
	・農福連携全国フォーラムの開催	10月26日事例発表等 全国から120名参加 10月25日スタディツアー実施 全国から38名参加 （県農業フェスティバル同時開催）
	・農福展示商談会の開催	実施日：11月15日開催 事前研修会：10月11日開催 出展者7件、バイヤー8社参加
ノウフクマルシェ活動推進事業	・全国ノウフクマルシェの開催	実施日：10月26日、27日 （県農業フェスティバル同時開催：県内14、県外36出展） 販売額4,698千円 オンラインマルシェ10月26日～12月26日まで日本農福連携協会を通じてJAタウンで開催 県内7、県外11出展 販売額295千円
農福連携魅力発信事業	・農福連携魅力発信バスツアー（障がい者との農作業体験等）	8月6日実施 県内在住親子9組22名参加 視察先：郡上市、関市内の事業所
	・魅力発信動画の作成	・3事業所等の障がい者自らが制作にかかわった動画が完成し、農福連携全国フォーラム（10月26日開催）で紹介 YouTube等で公開中 メイキング画像も含めてノウフクインスタグラムで公開中

③ 農福連携プラス推進モデル事業（新規）

農福連携に取り組む意欲的な障がい者就労施設等が、農業と福祉との連携だけでなく、観光業や商工業等、地域の資源を活用した連携により、農福連携をさらに推進する取り組みを厚生労働省が公募し、県内からは海津市南濃町の1事業所が採択された。

この取り組みにかかる事業のマッチングや立ち上げ等の支援を、コーディネーター（農業ジョブコーチ）2名に委託し、ニンニクスプラウト（水耕栽培）の栽培技術、地域を巻き込んだ取り組み（地域連携型直売所）と経営支援の伴走支援を行った。

④ 障がい者農業参入チャレンジ事業受託事業

県からの委託事業で、障がい者の新たな就労分野としての農業に進出するため農業者と障害福祉事業所との農作業受委託のマッチングや技術サポート、農業と福祉の相互理解を促進するためのセミナーを行うことで、福祉と農業の地域連携を深め、障がい者の就労の場の拡大や工賃向上、農業者の担い手確保を図った。令和6年度の農作業受委託については、101件の相談を受け付け、新規に16件、15件のマッチングを5年度に引き続き契約した。

また、飛騨市の施設野菜（トマト）で1件の雇用就農があった。

・マッチング状況

相談件数（件） （個別訪問を含む）	成立件数（件）	備 考
101	31	池田町：露地野菜の栽培管理（更新） 池田町：農園の管理補助（更新） 関市：黒豆の選別（更新） 神戸町：小葱の出荷調整（更新） 関市：里芋・生姜種芋の計量等（更新） 各務原市：ハウス内の清掃（継続） 神戸町：グリーンネギの出荷調整（更新） 山県市：にんにくの玉割、根切り等（更新） 高山市：トマトの下葉欠き（新規） 神戸町：小葱の出荷調整（新規） 高山市：ほうれんそうの出荷調整（新規） 神戸町：小松菜の出荷調整（新規） 高山市：トマトの下葉欠き後の清掃（新規） 中津川市：トマトの下葉欠き（新規2件） 岐阜市：枝豆の選別、剥き等（継続） 大垣市：鉢花のポット詰め等（新規） 八百津町：サツマイモ収穫・出荷調整（更新） 美濃加茂市：栗の箱詰め（更新） 美濃加茂市：公園内農園の作業補助（新規） 大野町：キャベツ畑除草（新規） 瑞浪市：黒豆の選別（新規） 瑞穂市：柿の収穫（継続） 瑞穂市：柿の収穫補助（継続） 瑞浪市：青豆の選別（継続） 大野町：柿の選定枝収集（継続1件、新規4件） 各務原市：ミニトマトハウス清掃・パッキング張り（継続） （飛騨市：施設野菜（新規・雇用1名））

※主な行事等

行 事 等	実 施 時 期	備 考
農福連携栽培技術基礎講座	4月～11月（10回開催） 11月15日閉校式開催	場 所：県農業大学校 対象者：障がい者施設等 8人
農福連携地域連携推進会議 の開催	5月13日（飛騨地域就労 雇用支援部会） 6月19日（郡上地域） 6月26日（東濃地域就労 雇用支援部会） 7月3日（岐阜地域） 7月10日（西濃地域） 7月26日（下呂地域） 9月6日（可茂地域） 9月17日（恵那地域） 10月15日（東濃地域） 12月2日（揖斐地域） 12月23日（下呂地域） 1月14日（中濃地域）	対象者：農業・福祉関係団体等 可茂地域、恵那地域は現地視察も実施 岐阜地域、可茂地域、下呂地域は2回開催

	1月17日（可茂地域） 2月6日（岐阜地域）県外 優良事例視察	
農業ジョブコーチ養成研修	11月29日、12月9日開催	場 所：中濃総合庁舎及び現地 11名参加
農福連携セミナー等の開催	10月1日現地視察研修会 開催	場 所：三重県 19名参加
	12月19日セミナー開催	場 所：県立図書館 主に福祉事業所対象 48名参加
	2月18日セミナー開催	場 所：県立図書館 主に農業者、特別支援学校 対象 35名参加
障がい者農業体験講座の開催	1月17日及び1月24日開催	大野町かき振興会を事業主体に大野町での柿の剪定枝収集作業を体験 延べ65名参加、内5福祉事業所から利用者17名参加 2生産者が4事業所とマッチング成立
ノウフクの日（11月29日）啓発活動事業	・県庁食堂（11/29）及びふれあい会館レストラン（Kouzo）（11/26～29）で農福商品を使用した特別メニューの提供とPR展示の実施 ・岐阜おみやげ川島店（川島SA内）（11月26日～12月9日）及びGIFTS PREMIUM（11月26日～12月9日）に一定期間ノウフク商品販売コーナーを設置	県庁内でノウフク新商品PR即売会同時開催 InstagramでのPRを実施

【ぎふ清流 GAP 推進センター】

（8）農産物の安全ブランド化推進事業

県は、GAPの取組を通じて県産農産物の安全ブランド化を推進し、農産物の安定供給と持続可能な農業経営の実現を推進している。

そこで、一般社団法人岐阜県農畜産公社は、令和2年度から、GAPの推進拠点となる「ぎふ清流 GAP 推進センター」を設置し、岐阜県及びJAグループと連携し、「ぎふ清流 GAP 評価制度」の運用と推進を図っている。

① ぎふ清流 GAP 推進事業

ぎふ清流 GAP 推進センターに専門の農場評価員、組織評価員を配置し、ぎふ清流 GAP 推進拠点として、制度の運用、GAPの相談窓口、GAP認証のサポートを実施している。

農場評価員については、公平な評価の実施と高度な相談に対応するため令和5年度と同様4名体制とした。

令和6年度のGAPに関する相談対応、指導機関との連携会議、取組み推進及び評価員の資質向上業務を実施した。取組み推進等の詳細は「表-1」のとおりである。

令和6年度の農場評価依頼件数は47件（更新21・新規24・変更2）で、評価は延べ64件（組織5件、施設2件、農場57件）を実施した。農場評価の詳細は「表-2」のとおりである。

「表-1」推進活動状況（実績）

活動内容	実施時期	内容
GAPに関する相談業務	4～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数：延べ32件 ・対象者：指導機関、申請者等 ・内容：申請と評価時期、ロゴマークの使用 管理項目の考え方、必要書類の様式 差分評価の考え方、リスク評価の方法 是正の方法と考え方、組織評価の必要書類
指導機関との連絡会議 各研修会・取組み推進等	4～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁関係課（農政・林政） 延べ11回 （年間事業計画及び事業進捗管理） ・岐阜市いちご部会 GAP 研修会（8/7）1回 ・JA全農岐阜いちご新規就農者研修所 ASIAGAP 更新審査立会と取組推進 10/22.23 ・ぎふ清流 GAP 産地研修会（西濃）12/6 ・ぎふ清流 GAP 更新についての研修 （大垣養老高校）2/5 ・普及指導員 GAP 研修 2/17
評価資質の向上	5月9.10日 10月15.16日 11月27日 2月13日 2月20.21日	<ul style="list-style-type: none"> ・評価規準及び参考様式の調整、先進事例調査 （株）AGIC、リッチフィールド（株）（藤沢市） ・部会組織でのJGAP取得推進 先進事例調査 福島県 JA Fukushima未来 ・GAPシンポジウム聴講（Web開催） ・GAP理解度促進セミナー聴講（Web開催） （一社）全国農業改良普及支援協会主催 ・2024年度GAPシンポジウム聴講（Web開催）

「表-2」ぎふ清流 GAP 評価制度農場評価実施状況（実績）

No	申請者	所在地	品目	評価日	備考
1	農事組合法人 三郷（更新）	養老町	キャベツ	7/30	農場 1
2	丹生川野菜出荷組合トマト部会 天空のめぐみ班（更新）	高山市	トマト	7/11～18	組織 1 施設 1 農場 5
3	合資会社 大黒屋農園（変更）	下呂市	米	7/23	農場 1
4	株式会社アルプス農場（更新）	高山市	トマト、パプリカ、 さやえんどう、 さやいんげん	7/12	農場 1
5	農事組合法人はちたか（更新）	中津川市	米	8/9	農場 1
6	有限会社JAにしみの興農社（更新）	大垣市	リーフレタス	8/19	農場 1
7	清水しいたけ園（更新）	白川町	しいたけ	9/4	農場 1

8	PLUS 株式会社（更新）	関市	米	9/11	農場 1
9	JA ぎふえだまめ部会（新規）	岐阜市	えだまめ	9/24 10/11. 24	組織 1 農場 2
10	株式会社 令和農園（更新）	輪之内町	いちご	9/30	農場 1
11	飛騨高山よしま（新規）	高山市	えだまめ、だいこん、 にんじん	10/15	農場 1
12	桐生 和実（新規）	郡上市	いちご	10/23	農場 1
13	JA 全農岐阜いちご新規就農者研 修所（更新）	岐阜市	いちご	11/19	農場 1
14	稲垣 和美（新規）	東白川村	トマト	10/22	農場 1
15	山下 松義（更新）	関市	なす	10/23	農場 1
16	株式会社 寺田農園（更新）	高山市	トマト	11/12	農場 1
17	すみれアグリファーム合同会社（新規）	高山市	ほうれんそう、かぶ	11/6	農場 1
18	めぐみの農業協同組合 郡上トマトの学校（更新）	郡上市	トマト	11/6	農場 1
19	有限会社水戸屋（更新）	恵那市	自然薯	12/12	農場 1
20	丸加林業合資会社（新規）	下呂市	しいたけ	2/14	農場 1
21	各務原市園芸振興会いちご部会 （更新）	各務原市	いちご	12/3. 10	組織 1 農場 2
22	太田 浩幸（新規）	池田町	茶	12/18	農場 1
23	坪井 静由（新規）	池田町	茶	12/17	農場 1
24	坪井 千秋（新規）	池田町	茶	12/19	農場 1
25	内田 和雄（新規）	池田町	茶	12/19	農場 1
26	野原 哲郎（新規）	池田町	茶	12/17	農場 1
27	加納 豊文（新規）	池田町	茶	1/9	農場 1
28	ぎふ農協岐阜市いちご部会 （更新）	岐阜市	いちご	1/10. 14. 21	組織 1 農場 4
29	有限会社 南飛騨農援隊（新規）	下呂市	米	1/16	農場 1
30	合資会社 大黒屋農園（変更）	下呂市	アスパラガス	3/21	農場 1
31	株式会社 まんま農園（新規）	高山市	米	1/27	農場 1
32	高野 博幸（新規）	可児市	いちご	1/28	農場 1
33	有限会社 すがたらいす（新規）	下呂市	米	2/12	農場 1
34	御草 横田 千洋（更新）	川辺町	しいたけ	1/27	農場 1
35	亀山果樹園 亀山 忠志（更新）	高山市	もも・りんご	2/6	農場 1
36	株式会社 和仁農園（更新）	高山市	米・WCS	2/4	農場 1
37	後藤 絵美里（新規）	本巣市	トマト	2/4	農場 1
38	小森 和代（新規）	大野町	柿	2/17	農場 1
39	所 三枝（新規）	大野町	柿	2/12	農場 1
40	あけぼのアグリサービス（株）（新規）	大野町	柿	2/19	農場 1
41	neo Farm 若原 雅之（新規）	大野町	柿	2/10	農場 1

42	藤井 昌弘(更新)	白川町	しいたけ	2/28	農場 1
43	永井 太(新規)	海津市	トマト	3/10	農場 1
44	東野 竜童(新規)	海津市	トマト	3/13	農場 1
45	ROUENFARM 有馬 和徳(新規)	海津市	トマト	3/12	農場 1
46	アグリ・オノ 小野 友邦(更新)	養老町	米	2/26	農場 1
47	ごうど下宮GAP組織(更新)	神戸町	小松菜、水菜	3/3. 4. 7	組織 1 施設 1 農場 2

② GAP 指導員育成事業

県内各地において GAP の取組を拡大するため、GAP に対する正しい知識と力量を備え、農業経営のリスクを発見し、改善について農業者を指導できる指導員を育成している。

令和 6 年度は、新たに農場評価員 11 名、組織評価員 10 名を育成した。

また、GAP の取組拡大に関する研修は、指導者等を対象として現地研修及び集合研修を、延べ 179 人の参加を得て実施した。研修の詳細は「表-3」の通りである。

(表-3) GAP 指導員養成関連研修 (実績)

期日	研修名	場所	対象	受講人員
【実績】 R6. 6. 13	GAP 指導員更新研修 (1 回目)	Web 研修 (各関係事務所等)	農業普及指導員 センター職員	18 人
【実績】 ・ R6. 6. 18、19 ・ R6. 6. 25、26	組織評価員研修 (2 回開催)	・ 岐阜県福祉・農業会館 ・ JA にしみの海津集出荷センター	農業普及指導員	10 人 (5 人×2 回)
【実績】 R6. 7. 23、24 (2 日間)	GAP 指導員育成研修 1 日目：基礎研修 2 日目：実践研修	岐阜県福祉農業会館 岐阜県農業大学校	農業普及指導員 革新支援専門員 林政部職員 JA 関係職員	13 人
【実績】 ・ R6. 6. 11、17、18 ・ R6. 7. 10. 26 ・ R6. 8. 1	国際水準 GAP 評価基準に係る評価ポイント現地研修会	・ 各圏域で選定した農場 延べ 6 箇所	農業・林業普及指導員 革新支援専門員 農政・林政部職員 JA 関係職員 取組志向農家等	102 人
【実績】 R6. 8. 22	GAP 指導員養成研修 農場トレーニング・試験	岐阜県福祉農業会館	農業普及指導員 革新支援専門員 林政部職員 JA 関係職員	11 人
【実績】 R6. 10. 2	GAP 指導員ステップアップ研修 (QMS)	Web 研修 (各関係事務所等)	農業普及指導員 センター職員	15 人
【実績】 R6. 11. 7	GAP 指導員更新研修 (2 回目)	Web 研修 (各関係事務所等)	農業普及指導員 JA 関係職員 センター職員	17 人

【実績】 R6.11.26	ぎふ清流 GAP 評価制度 推進研修会	岐阜県 JA 会館	農業・林業普及指 導員 革新支援専門員 農政・林政部職員 JA 関係職員 取組志向農家等	77 人
【実績】 R6.12.3、4	GAP 指導員ステップアッ プ研修 (HACCP)	Web 研修 (各関係事務所等)	農業普及指導員 センター職員	14 人
【実績】 R7.1.9、10	JGAP 指導員基礎研修	Web 研修	センター職員	1 人

〈 その他 〉

(9) 牧場ふれあい事業

自然に恵まれた東濃牧場及び飛騨牧場を広く県民に開放し、憩いの場を提供するために次の事業を実施した。

ア 東濃牧場：牧場作業の体験、畜産物の加工体験、家畜とのふれあい及びイベントの開催場所の提供等を行っているが、まきば館での体験等の業務については、引き続き恵那市の酪農家に業務委託して実施した。

・ 来場者等

区 分	実 績	備 考 (令和5年度実績)
一般来場者数 (人)	2,601	(3,135人)
利用者数 (人)	2,330	(2,762人)
体験者数 (人)	26	(24人)

イ 飛騨牧場：牧場の一般開放を条件付で7月から実施した。

開放期間：7月から翌年3月まで

開放条件：団体に限る、牧場運営に支障を来さない期間、携帯電話必携等

2 重要な契約に関する事項

(1) 請負契約 (金額 10,000 千円以上)

(単位：千円)

区分	契 約 名	契 約 内 容	契約期間	契約金額	契 約 先	備 考
受託契約	牧場管理委託契約	県営牧場 (東濃、飛騨) の維持管理・運営	R6.4.1 ~R7.3.31	62,192	岐阜県	指定管理
	畜産生産基盤整備事業牧場施設等設置委託契約	施設用地造成：1式	R6.4.22 ~R7.3.31	(19,957) 17,922	郡上市	
工事請負契約	郡基第0601号八幡・明宝団地第1工区外構等工事	舗装工： A=0.29(0.36)ha 小型水路工：1式 草地整備工： A=3.57ha	R6.6.26 ~R7.2.28	(38,687) 40,185	(株)丸登建設	

郡農0601号 八幡団地第1工区 肥育牛舎建築工事	肥育牛舎：1棟	R6. 7. 5 ～R7. 3. 14	(105, 820) 111, 686	(株)北濃工務店	
---------------------------------	---------	------------------------	------------------------	----------	--

※契約金額欄上段当初、下段変更後

(2) 譲渡契約 (金額 10,000 千円以上) (単位：千円)

区分	契約名	契約内容	契約期間	契約金額	契約先	備考
譲渡契約	畜産生産基盤整備事業牧場施設等譲渡契約	肥育牛舎：1棟	R6. 4. 22 ～R7. 3. 31	(59, 135) 58, 359	郡上市	

※契約金額欄上段当初、下段変更後

(3) 売買契約 (金額 10,000 千円以上) (単位：千円)

区分	契約内容	契約日	契約金額	契約先	備考
売渡契約	乳用初妊牛 (4月譲渡分：37頭)	R6. 4. 30	24, 218	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (5月譲渡分：45頭)	R6. 5. 31	29, 062	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (6月譲渡分：37頭)	R6. 6. 30	23, 962	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (7月譲渡分：26頭)	R6. 7. 31	16, 963	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (8月譲渡分：34頭)	R6. 8. 31	22, 149	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (9月譲渡分：36頭)	R6. 9. 30	23, 686	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (10月譲渡分：31頭)	R6. 10. 31	20, 283	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (11月譲渡分：27頭)	R6. 11. 30	17, 499	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (12月譲渡分：17頭)	R6. 12. 31	11, 080	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (1月譲渡分：32頭)	R7. 1. 31	20, 715	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (2月譲渡分：33頭)	R7. 2. 28	21, 122	岐阜県酪連	
	乳用初妊牛 (3月譲渡分：31頭)	R7. 3. 31	20, 145	岐阜県酪連	
買入契約	(該当なし)				

(4) 借入金金銭消費貸借契約 (長期 10,000 千円以上) (単位：千円)

借入目的	借入期間	契約金額	契約先	備考
公社経営改善資金 (畜産)	H23. 4. 1 ~ R23. 3. 31	295, 000	岐阜県	定期償還中
長期保有農地売渡促進資金 (農地)	H26. 3. 31 ~ R11. 3. 31	267, 500	岐阜県	R6. 3. 27 償還期限変更

(参考) 借入金金銭消費貸借契約 (短期 10,000 千円以上) (単位：千円)

借入目的	借入期間	契約金額	契約先	備考
事業管理運営資金 (畜産)	R5. 4. 10~R6. 4. 10	20, 000	岐阜県信連	R6. 4. 10償還済
事業管理運営資金 (畜産)	R5. 5. 23~R6. 4. 10	20, 000	岐阜県信連	R6. 4. 10償還済
事業管理運営資金 (畜産)	R5. 7. 19~R6. 4. 10	10, 000	岐阜県信連	R6. 4. 10償還済
事業管理運営資金 (畜産)	R5. 11. 17~R6. 4. 10	11, 000	岐阜県信連	R6. 4. 10償還済
事業管理運営資金 (畜産)	R5. 12. 1~R6. 4. 10	10, 000	岐阜県信連	R6. 4. 10償還済
事業管理運営資金 (畜産)	R6. 3. 25~R6. 4. 10	15, 000	岐阜県信連	R6. 4. 10償還済
事業管理運営資金 (畜産)	R6. 4. 10~R7. 4. 10	104, 000	岐阜県信連	
事業管理運営資金 (畜産)	R6. 4. 10~R7. 4. 10	10, 000	岐阜県信連	
事業管理運営資金 (畜産)	R7. 2. 17~R7. 4. 10	10, 000	岐阜県信連	
事業管理運営資金 (畜産)	R7. 3. 19~R7. 4. 10	10, 000	岐阜県信連	

畜産生産基盤整備事業運転資金	R6. 7. 10~R7. 4. 10	15,470	岐阜県信連	R6. 10. 31償還済
畜産生産基盤整備事業運転資金	R6. 7. 22~R7. 4. 10	42,320	岐阜県信連	R7. 3. 31償還済
畜産生産基盤整備事業運転資金	R7. 2. 18~R7. 4. 10	19,500	岐阜県信連	R7. 3. 31償還済

3 理事会・総会に関する事項

(1) 理事会

開催日	提出議案等
第1回理事会（臨時：決議省略） 令和6年5月31日	第1号議案 一般社団法人岐阜県農畜産公社就業規程の一部改正について（承認） 第2号議案 令和6年度第1回臨時総会（決議の省略）の開催について（承認） 議第1号 一般社団法人岐阜県農畜産公社理事の選任について
第2回理事会（通常理事会） 令和6年6月14日	第1号議案 令和5年度事業報告について（承認） 第2号議案 令和5年度決算について（承認） 第3号議案 令和5年度公益目的支出計画実施報告書について（承認） 第4号議案 令和5年度第1次収支補正予算について（承認） 第5号議案 役員等賠償責任保険契約の締結について（承認） 第6号議案 令和6年度第2回総会（定時総会）の開催について（承認） 議第1号 令和5年度決算について ・令和5年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について 議第2号 一般社団法人岐阜県農畜産公社理事の選任について 報第1号 令和5年度事業報告について 報第2号 令和5年度公益目的支出計画実施報告書について 第7号議案 一般社団法人岐阜県農畜産公社理事との利益相反取引について（承認） 報第1号 農地中間管理事業評価委員会の報告について 報第2号 一般社団法人岐阜県農畜産公社各種要綱・要領の一部改正等について
第3回理事会（臨時理事会） 令和6年11月7日	第1号議案 令和6年度事業計画の変更について（承認） 第2号議案 令和6年度第2次収支補正予算について（承認） 第3号議案 一般社団法人岐阜県農畜産公社理事との利益相反取引について（承認）

	<p>報第1号 職務の執行状況について</p> <p>報第2号 一般社団法人岐阜県農畜産公社要綱・要領の制定について</p>
<p>第4回理事会（通常理事会） 令和7年3月19日</p>	<p>第1号議案 令和6年度第3次収支補正予算について（承認）</p> <p>第2号議案 令和7年度事業計画について（承認）</p> <p>第3号議案 令和7年度収支予算について（承認）</p> <p>第4号議案 令和7年度借入限度額について（承認）</p> <p>第5号議案 役員等賠償責任保険契約の締結について（承認）</p> <p>第6号議案 一般社団法人岐阜県農畜産公社理事との利益相反取引について（承認）</p> <p>第7号議案 理事会の議長の順序について（承認）</p> <p>第8号議案 一般社団法人岐阜県農畜産公社各種規程の一部改正について（承認）</p> <p>報第1号 職務の執行の状況について ・令和6年度の事業実績（見込み）について</p> <p>報第2号 一般社団法人岐阜県農畜産公社各種要綱・要領の一部改正等について</p>
<p>第5回理事会（臨時：決議省略） 令和7年3月27日</p>	<p>第1号議案 令和7年度第1回臨時総会（決議の省略）の開催について（承認）</p>

(2) 総会

開 催 日	提 出 議 案 等
<p>第1回総会（臨時：決議省略） 令和6年6月7日</p>	<p>議第1号 一般社団法人岐阜県農畜産公社理事の選任について（承認）</p>
<p>第2回総会（定時：決議省略） 令和6年6月28日</p>	<p>議第1号 令和5年度決算について（承認） ・令和5年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について</p> <p>議第2号 一般社団法人岐阜県農畜産公社理事の選任について（承認）</p> <p>報第1号 令和5年度事業報告について</p> <p>報第2号 令和5年度公益目的支出計画実施報告書について</p>

4 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状況の推移

(単位 : 千円)

事業年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
前期繰越収支差額	85,054	82,112	111,069	3,001	24,623
当期収入合計	1,407,576	1,508,710	2,109,224	1,784,386	1,967,490
当期支出合計	1,410,518	1,479,753	2,217,292	1,762,764	1,950,568
当期収支差額	△ 2,942	28,957	△ 108,068	21,622	16,922
次期繰越収支差額	82,112	111,069	3,001	24,623	41,545
資産合計	1,072,434	1,144,241	980,614	1,019,075	1,020,914
負債合計	645,722	723,718	635,377	746,869	778,176
正味財産	426,712	420,523	345,237	272,206	242,738
うち当期正味財産 増減額	△ 16,609	△ 6,189	△ 75,286	△ 73,031	△ 29,468